



Cat.No. J871

体外診断用医薬品

クイックジェル ALP試薬(骨型)

骨型アルカリフォスファターゼ測定用試薬



● 試薬の特徴

- ・あらかじめ測定されたALP総活性値を用いることで、骨型ALP活性を定量することができます
- ・CLEIA法およびPAG電気泳動法で測定された骨型ALP測定値と相関が良好です
- ・3-インドキシルリン酸を基質として用いるホルマザン系試薬です

● 対応機種

- ・全自動電気泳動分析装置「エパライザ2」・・・・・・・・・・全自動（連続可）
- ・全自動電気泳動分析装置「エパライザ2 ジュニア」・・・・全自動
- ・デンストメーター「クイックスキャン」・・・・・・・・・・用手法

● 試薬・支持体

Cat.No.	品名	規格	構成品
J871	クイックジェル ALP試薬(骨型)	20枚用	基質剤 2.0mL用×4本 基質溶解液 8mL×1本 発色試液 3mL×4本 前処理剤 1.5mL用×2本 セパレーター 0.5mL×1本
J713	クイックジェル ALP	83mm×129mm×10枚	支持体 10枚 プロッターE 10枚、プロッターF 10枚
5104	ジェルALPコントロール	2mL×1本	



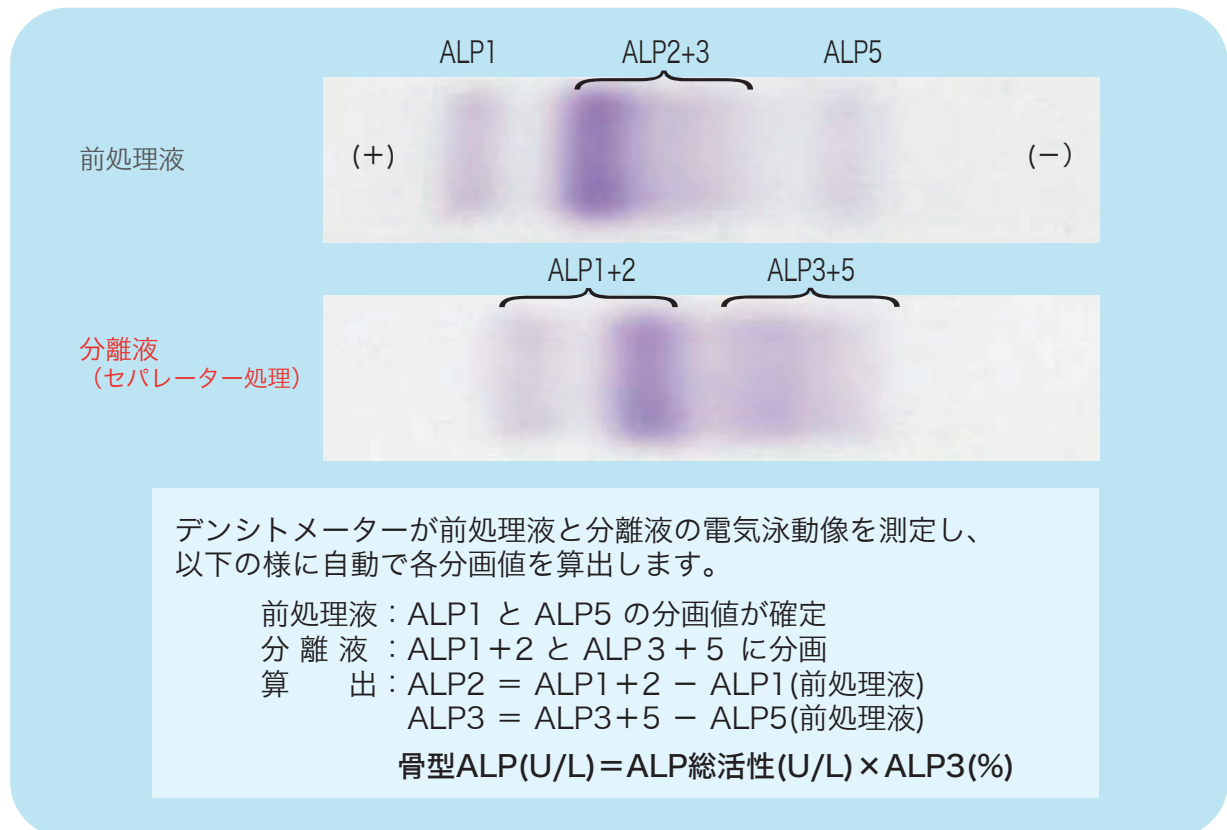
Cat.No. J871

クイックジェル ALP試薬(骨型)

骨型アルカリホスファターゼ測定用試薬



『電気泳動法で骨型ALPの定量とALPアイソザイムの測定』



アルカリホスファターゼ(ALP)は、アルカリ性領域でリン酸エステルを加水分解する酵素です。生体内では腎臓、肝臓、骨、小腸、胎盤などの組織でALP活性が高いことが知られています。

血中のALPは、電気泳動法により、高分子肝型、肝型、骨型、胎盤型、小腸型に分離することができます。

骨型ALPは骨芽細胞に存在し、骨芽細胞の活発な細胞分裂により血中に増加することから、骨形成マーカーの1つとして、癌の骨転移、透析骨症、骨粗鬆症等の診断および経過観察に有用とされています。

電気泳動法による骨型ALP測定では、骨型ALPの定量の他、肝胆道系の生成亢進や排出障害などにより上昇する肝型ALPなどの測定や、アノマリーの有無等、診断に有用な情報を同時に得ることができます。

参考文献

- 1) 深津俊明. アルカリホスファターゼ(ALP). 臨床病理レビュー 特116, 27-35 (2001)
- 2) 松下誠 他. アガロースゲル電気泳動法によるALPアイソザイム分析の改良. 臨床病理52 補冊, 232 (2004)
- 3) 星野忠 他. 高分子小腸型ALPがアガロースゲル電気泳動における骨型ALP分画値に及ぼす影響. 臨床化学 37, 63-67(2008)